

KANKOU TAKASAKI

観光たかさき

2012
SUMMER 夏号
VOL.119

歴史ロマン 発見

上信電鉄で巡る石文の里

いしぶみ

高崎の観光再発見

高崎城の面影を伝えるお堀





上野三碑（左から金井沢碑、山上碑、多胡碑）



上信電鉄で巡る石文の里

日本最古級の「上野三碑」～金井沢碑・山上碑・多胡碑～



日本の石碑は、古代中国や朝鮮半島の文化の影響を受けて、7世紀に始まった。平安時代以前の石碑は、国内に16例しか現存せず、その3例が高崎に存在する上野三碑（金井沢碑・山上碑・多胡碑）。いずれも国の特別史跡（関東地方では10件）に指定され、観音山丘陵の南端の山名町とその西に位置する吉井町のわずかに数キロの範囲に分布する集中度は、他に例を見ないという。「千三百年前の古代高崎地域には文字を理解した人々がかなりいたことが推察され、相当に文化度が高かった」と、歴史エッセイ『高崎千年物語』（若狭徹著・高崎市発行）の中で若狭徹氏は記している。

そんな奇跡のような3つの石碑を巡りたいと、上信電鉄に乗って出かけた。

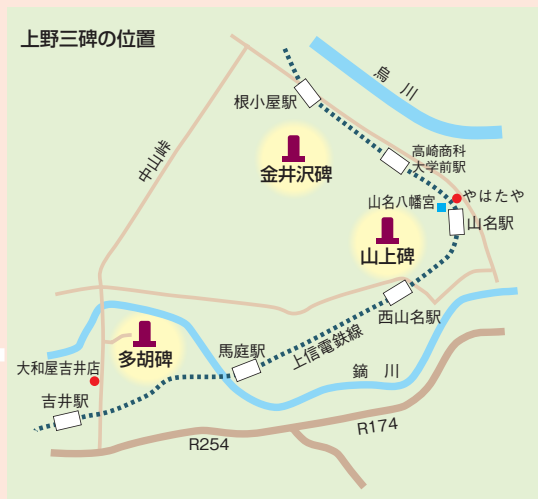
10時31分発の下仁田行きに乗りこむ。電車が住宅の軒下を通り抜けると、観音山丘陵と烏川河川敷が視界に広がる。考えてみればこの高崎地域は、関東平野の北端で山と平野、大きな川が出会う場所。畿内よりつながる律令時代の幹線道路「東山道」の東国の玄関口でもある。古代人がこうした地域を拠点とし、東国文化発祥の地といわれ

高崎駅0番線、上信電鉄の始発駅のホームに立つ。リュックを背負い、足元はスニーカーという出で立ちに、軽量の一眼レフ。そして、すっかり愛読書となった歴史エッセイ『高崎千年物語』を携え、古代の息吹に触れに行く。

高崎駅～根小屋駅



るほど高い文化度を誇っていた事実が、目の風景から説得力をもって浮かび上がってくる。最初に行くのは「金井沢碑」。最寄りの根小屋駅に10時37分着。女性の駅長がホームで迎えてくれる。駅舎は青にペイントされた小さな民家のように。花壇に植えられたラベンダーの香りがすがすがしい。緩やかな上り坂を進んで家並みが途切れると木立がうっそうとし、途中「金井沢之碑入口」と書かれた石柱のところを左に下る。初夏の陽射しが和らぎ心地よい風が吹く。左側に頻繁に通る自動車の音を意識しながら進んでい





金井沢碑覆屋

くと、やがて休憩所や公衆トイレが整備され、その先の畑の中の細い道を登ったところに碑の覆屋がある。駅から20分程の距離だ。

■金井沢碑

高さ1メートル強の自然石に漢字112文字が刻まれた金井沢碑は、奈良時代前半の神亀3(726)年に建立された。下賛(下佐野)郷高田里に住む豪族の一族が、当時最新の文化である仏教思想によって祖先を供養した碑であり、古代氏族の關係や思想を知る上で極めて重要な史料。さらに、碑文には「群馬」の2文字が刻んであり、これは地元における最も古い用例で、奈良時代の朝廷の地名改定の政令が地方でも厳守されていたことを証明する行政史の一級資料という。

■根小屋駅から山名駅・山名八幡宮

根小屋駅から山名駅までの切符170円を購入し、11時45分の電車に乗る。5分ほどで山名駅に到着。駅のすぐ前には山名八幡宮がある。安産・子育ての神として知られる山名八幡宮は、新田莊を開いた新田義重の三男義範によって創建された。



●海鮮割烹やはたや

群馬県水産市場の経営に長い間携わってきた石井さんが、自信を持って仕入れる旬の良質な食材を提供する評判の店。雑木からなる京風庭園を眺めながらの食事は、心洗われるひととき。ランチは880～2,000円前後のメニューが揃い、満足感いっぱい。高崎市山名町178-3 TEL.027-347-4711 営業時間: 昼11時30分～14時 夜17時～22時(月曜定休)

鎌倉街道沿いにあつて、鎌倉時代後期にはその門前に宿が形成されてにぎわったという。義範は、この山名郷に入り山名氏の祖となった。史書「吾妻鏡」には山名義範の名が随所に残され、源頼朝の御家人となって活躍したとある。その後山名氏は足利尊氏に従い西日本に勢力を伸ばし、室町時代を支える有



山名八幡宮

力な守護大名になっていく。応仁の乱を引き起こした山名持豊(宗全)は、この山名氏の子孫である。

■海鮮割烹「やはたや」で昼食

山名八幡宮の鳥居の前から伸びる道を直進して3分ほど歩いたところに、オススメのランチスポット、海鮮割烹「やはたや」がある。竹林や雑木に囲まれた数寄屋造りで、手入れされた庭園には青々とした緑が繁る。初夏の陽射しから逃れ、ほっと一息つける。情緒ある庭を觀賞しながら小鉢が並ぶ「やはたや御膳」(1,980円)をいただく。ここでしっかり食べて休んで、あと2つの古碑を巡るための鋭気を養う。

里山に分け入り古代にタイムスリップ

■山名八幡宮から石碑の路を 通って山上碑へ

山名八幡宮の正面右端より上り坂の小道が始まる。ここが山上碑と金井沢碑に続く5km程の自然歩道「石碑の路」の起点。万葉集のなかの上野国を詠んだ和歌を刻んだ29の碑が道中に建つ。人の手が最小限に加えられた山道を歩くと、文明から隔絶され、まさに古代万葉の世界にどっぷり浸ることができる。

山名八幡宮の裏山を案内に従って進んで行く。上りきったところの石段を降りると、山名団地の住宅地に出る。案内表



示通りに軒が並ぶ通りを進んだ先、家と家の間の狭い路地が古碑につながる道となっていて面白い。畑の中の小道をズンズン

行くと、草いきれと土の匂い、ブンブンという蜜蜂の羽音など、密度の濃い自然界に放り出される。1、300年前の自然はもともと深く濃厚だったに違いない。やっとアスファルトの広い道路に出ると、静かな隠れ里で民家も間バラ。300メートルほど歩くと右側に「山上碑入口」の看板が出てくる。そこから177段の石段を上る。日当たりのよい南斜面のわずが、雑草や木々が生い茂り、碑の覆屋とその横の古墳はひっそりと包み込まれている。山名八幡宮を出発してから約30分が経過していた。

■山上碑

覆屋のガラス越しにのぞいた石碑は、高さ1メートルほどの親指形の自然石。681年に建てたという銘文がある山上碑は完存しているものでは国内最古の石碑だ。僧であった長利が亡

き母を顕彰するために建てたもので、53文字が刻まれている。

傍らにはその母を葬ったとみられる古墳（山上古墳）。碑に出てくる佐野三家（屯倉）の文字から、高崎市南西部の「佐野」一帯にヤマト政権の経済・軍事上の要地に設置した支配拠点があったことが分かるなど、古代の家族史や地域史の解明に果たす役割は大きいという。

■山上碑から西山名駅へ

山上碑から下って上信電鉄の西山名駅に向かう途中、東に黄金色の麦畑が広がる。その右側一帯には小丘が密集する山名古墳群があり、その中に山名地域で初めて6世紀末頃に造られた中型の前方後円墳・伊勢塚古墳がある。そこには、山上碑（681年）、金井沢碑（723年）が建てられるなど山名地域を東国有数の文化地帯に発展させた主が眠っていると考えられている。

■吉井駅から多胡碑へ

西山名駅から吉井駅に向かう



▲山上古墳

山名古墳群▶

途中、鎭川を渡る。山上碑、金井沢碑は、烏川と鎭川にはさまれた地域に、これから訪ねる多胡碑は鎭川沿いにあり、豊かな川の流れるは古代人たちの暮らしに便利さや恵みをもたらしたのだろう。

吉井駅に着くと、上信電鉄のサービスとして無料で自転車が借りられる。

自転車で吉井駅から右斜めに



鎭川を渡り吉井駅へ



丘陵と豊かな河川が育んだ古代文化

ある吉井小学校の脇を通り、踏切を渡って道なりに進み、大通りの信号をそのまま直進。道端の案内表示に従って進む。吉井運動公園の向かいにあるコンクリート工場の間を抜けたところに多胡碑記念館がある。駅から自転車で約20分。

■多胡碑

覆屋のガラス越しに見た多胡碑は、山上碑と金井沢碑が自然石製なのに対し、切石製で上に笠石を乗せた端正な姿。刻まれた文字にも味わいがある。全体に風格を放っている。

平城京遷都の翌年、和銅4



多胡碑覆屋

(711)年に上野国の片岡郡、緑野郡、甘楽郡から6つの郷を割き、新たに多胡郡が新設されたという日本の正史「続日本紀」にも記された事実を、地元側で書き記したものが多胡碑である。碑文の「羊に給いて」の部分から、羊という人物が朝廷から郡の長官に任じられ、朝廷の高官の名を連ねて自らの正当性を示したものと考えられる。

碑文は80文字のしっかりした楷書体で、多くの人々に愛好され、拓本が朝鮮・中国に伝えられたことを契機に、近代以降の日本の書道界に影響を与えた。

多胡の名の由来は、隣に甘楽(「韓」の地名もあることから、この地に胡人(渡来人)が多かったためと考えられている。付近は先進の渡来技術を導入した一大手工業地域(糸・布生



古代蓮「大賀蓮」



多胡碑記念館

■多胡碑記念館

産、窯業)で富裕の土地だった。また、この地には「羊太夫伝説」が伝わり、地元の人々は、多胡碑を「ひつじさま」と呼んで信仰の対象として大切にしてきたという。

この多胡碑から生まれた記念館には、奈良・平安時代の多胡郡をうかがわせる考古資料や、多胡碑の書に通じるとされる中国古代の拓本など、多胡碑に関

連する資料が多数展示されていて興味深い。建物は韓国の上流階級の夏の住まいをイメージして設計され、2階の露台の太鼓張りの障子やガラス戸を開け放つと、外庭から中庭へと初夏の風が通り抜けていく。

また、7月上旬には「いしづみの里公園」内の池で古代蓮「大賀蓮」がピンク色の花を咲かせる。多胡の峰や鎭川をわたる風が記念館の中を吹き抜け、碑の覆堂を囲む大木がざわざわと揺れながら陽射しを和らげる。夏に向かつて訪れたいいしづみの里である。



●大和屋 高崎吉井店

多胡碑にちなんだ「多胡の珈琲」はこの店舗だけのオリジナル商品。コーヒーの無料サービスもあるので、休憩をかねて寄ってみよう。高崎市吉井町池1479-1 TEL.027-320-3210 営業時間:9時~18時(年中無休)

●01

MATSURI

よいし祇園まつり

7/21
(土)吉井文化会館周辺「けやき広場」
(上信電鉄吉井駅から徒歩3分)

内容(予定)

■山車・みこし巡行 ■カラオケ大会
■だんべえ踊り ■和太鼓 ■創作ダンス
■獅子舞 ■盆踊り ■八木節

古くから続く伝統的なおまつりで
す。山車・みこし巡行や多彩なイベ
ントが開催されます。多くの皆様
のお越しをお待ちしております。

●お問い合わせ：吉井支所産業課
TEL.027-387-3134

●02

第32回箕郷ふるさと夏祭り

7/29
(日)午前10時～
ふれあい公園

第32回目をむかえる「箕郷ふるさと夏祭り」は、
住民の手作りによるお祭りになるよう実行委員会で検
討を重ね、子供からお年寄りまで参加できる各種イベ
ントを予定しています。

祭りの締めくくりは夜空に舞う約2,000発の花火。
ふれあい公園で寝そべてお楽しみください。

●お問い合わせ：箕郷支所産業課 TEL.027-371-9065

MATSURI



●03

MATSURI

榛名の祭り花火大会

8/3
(金)榛名湖畔
(榛名湖町)

榛名湖畔で行われる花火大会です。打上花火はもち
ろん、モーターボートから次々と湖面に投げ込まれる
水中花火は扇型に開き、水面を華やかに彩ります。榛
名湖は周囲を榛名外輪山に囲まれているので、その中
に響き渡る花火の音も大会の雰囲気盛り上げます。

さらに一昨年からカラーレーザー装置を導入して、
花火と併せて夏の空を鮮やかに照らし出していて、他
では見られない演出です。

●お問い合わせ
榛名支所産業観光課
TEL.027-374-5111

●04

第33回ぐんま「はにわの里」夏まつり

8/12
(日)【まつり】市民活動センター(愛称：ソシアス)
【花火】上毛野はにわの里公園

内容
時間
【まつり】ステージイベント(ふれあいステージ・キャラクターショーほか)
フィールドイベント(模擬店、体験広場ほか)
＝午前10時～午後5時
【花火大会】＝午後7時30分～午後8時15分

●お問い合わせ：群馬支所産業課 TEL.027-373-1211

MATSURI



●05

MATSURI

新町ふるさと祭り「花火大会・灯籠流し」「ふれあい盆踊り大会」

8/16
(木)小雨決行
烏川総合グラウンド・
温井川河畔

※花火大会・灯籠流しは雨天の場合
翌日17日(金)

風情ある灯籠流しと趣向を凝らした花火
と一緒に楽しめるのが見どころ。グラウン
ド内に櫓を設置し、盆踊り大会も併せて実
施されます。

当日は、混雑が予想されますので、公共
交通機関等をご利用ください。

●お問い合わせ：新町支所地域振興課 TEL.0274-42-1234

●06

くらぶちの夏祭り

8/18
(土)午後2時～8時30分
花火大会 午後8時～
倉渚支所(倉渚町三ノ倉)

くらぶちの夏祭りは、住民参加による楽
しいお祭りです。

地域の子どもたちが大切に継承する花車
(だし) 囃子の発表や民謡愛好会の生演奏に
よる盆踊り、恒例のワイワイチャレンジな
どに参加していただけます。

午後8時からの花火大会は、倉渚支所の
庭から間近に見られます。真夏のひと時を
お楽しみください。

●お問い合わせ：倉渚支所地域振興課
TEL.027-378-3111

MATSURI



第38回高崎まつり

●07

8月4・5
(土)(日)両日午後1時～
《大花火大会》4日(土)
午後7時40分～8時30分

積極的に繋がろう ～市民総参加と被災地域支援～

●ワッペンつけて高崎まつりに参加しよう！

第2回のまつりから続くワッペンは、市民総参加のあらわれです。「花火」をテーマに2色と限定されたなかでデザインされたこの作品は、過去最高2314通の応募作品から選ばれました。

●高崎まつりの大花火大会はどこにも負けない大迫力！

わずか50分間に15,000発の打上げは、市街地開催という制約から考え出された高崎ならではのスタイルでしょう。

新たに烏川緑地(高松エリア)有料観覧席が加わり、更なる魅力となります。

●高崎まつりは2日間ずっと面白い！

神輿に和太鼓、阿波踊りなどの伝統文化、だるまの街ならではの巨大だるま・創作だるまみこし、被災地域からの出店にはじまる露店が賑いを演出いたします。山車まつり、技能祭も同時開催となる賑やかな高崎まつりに、ぜひお越し下さい。



山車巡行の伝統

東・南地区21台が出場

「高崎まつり」山車巡行も、今年は通算38回を向かえ、「山車まつり」として独立してから10回目となります。今年は、輪番制により、東・南地区の21台が出場予定です。

8月4日(土)は、東・南地区21台の山車が駅前通りに集合します。その後、もてなし広場まで巡行し、夕刻「集結式」に山車が一堂に集結する情景は圧巻です。式終了後、太鼓の叩き合い、山車囃子が響くなか、夜空に花火が上がり、祭りは最高潮を迎えます。8月5日(日)は、田町通りに勢揃いします。叩き合いでお祭りを盛り上げます。詳細は、これから実施本部でつめて、広報、パンフレットでお知らせします。

第16回高崎観音山万灯会

まんどうえ

MATSURI

●08

8月25
(土)午後5時～9時30分
観音山一帯にて開催

昨年度の高崎観音山万灯会は、東日本大震災の犠牲者の慰霊と被災復興支援の思いを込めて、鳴り物を少し自粛しつつ本来の静かなしめやかなお祭りとなりました。

第16回となる本年はその願いを踏襲しつつも少しは元気の出るイベントを増やしたいと思います。具体的には昨年中止にした洞窟観音のハワイアンフェスティバルの復活です。これにより周遊コースが成立して、観音山をまんべんなく楽しみながら散策していただけます。例年通りに、15,000個の灯明と1,500基の灯籠によって、高崎白衣大観音を中心に、観音山商店街、平和塔ひろば、石段から清水寺、洞窟観音と、観音山全体を厳かに照らし出します。高崎の夏の終わりを告げる幽玄な風物詩であることは言うまでもありません。ぐるりんバスなど公共交通機関をご利用いただき、清水寺石段より徒歩にてのお詣りをお勧めします。

RALLY

機関車の街・高崎 まちなかスタンプラリー

●09



昨年開催された「群馬デスティネーションキャンペーン(群馬DC)」に引き続き、群馬の魅力をPRする「ググッとぐんま観光キャンペーン」が7月1日から9月30日の3ヶ月間実施されます。「心にググッとぐんま わくわく体験 新発見」をテーマに、体験メニューなどいろいろなイベントが開催されます。

●お問い合わせ：機関車の街・高崎 事務局(高崎市観光課内) TEL.027-321-1257

高崎でこの期間中に実施する「機関車の街・高崎 まちなかスタンプラリー」はSLのD51、C61、電気機関車のデキといった魅力あふれる機関車が走るこの街ならではのイベント。高崎駅周辺のお菓子屋さんや工芸品店、飲食店など約30店舗から3店舗で関連グッズを購入すると特製の「機関車だるま」をプレゼントします。専用紙は高崎駅総合案内所で。



ようこそ高崎 人情市 もてなし広場

TOPICS



●10



今後のスケジュール

平成24年7月21日(土) (午後3時から午後9時頃 午後7時から人情市ナイトシアター)
平成24年7月22日(日) (午前8時～午後3時)
平成24年8月26日(日) (午前8時～午後3時)
平成24年9月23日(日) (午前8時～午後3時)

●お問い合わせ：事務局 NPO 法人高崎やる気堂(高崎市石原町3235)
TEL&FAX 027-321-9262 <http://ninjou.gunmablog.net/>

御城御普請所御願済絵図（75.5 × 76.5cm）
年次不詳 高崎市史料



壮大な規模を誇る高崎城

郭内だけで5万坪を超える広さ



● 壮大な高崎城の縄張り

お堀は、かつての城の大きさを感じさせてくれる場所だ。今残っている高崎のお堀は、慶長3年（1598）に井伊直政が築いた高崎城の一番外側の「三の丸堀」で、現在の総延長で1.1kmもある。江戸期の城跡が、群馬県内でこれほど立派に保存されているのは、高崎城以外にはない。高崎城址は高崎を訪れた人に、ぜひ歩いてほしい自慢の散策スポットだ。

天正18年（1590）、徳川家康は江戸に入府すると、四天王の一人、井伊直政を北関東の要、箕輪城（高崎市箕郷町）に入城させた。慶長三年（1598）、直政は中山道と三国街道の分岐点、和田に城を築いて、地名も「高崎」と改めた。高崎城は、郭内だけで5万坪を超える壮大な規模で、関ヶ原の合戦の際、中山道を西進した徳川秀忠の軍勢3万が

高崎城の面影を伝えるお堀

城内に駐留できるほどだった。

高崎城は、持久戦も含めた攻防が計算された城で、三層櫓造りの本丸は、現在の和田橋東のNTTあたりにあった。その周りに二の丸、三の丸があり、本丸堀、二の丸堀、三の丸堀と土塁で三重に囲まれていた。土塁の上には堀が廻らされ、鉄砲や矢で迎え討つための小窓や狭間が設けられていた。二の丸堀の発掘調査では、深さが6〜7mで、敵の侵入を防ぐため、堀の底には升目状に深く掘り下げた「障子堀」と呼ばれる罠が見つかった。

現在残っている三の丸堀は、本丸堀や二の丸堀に比べて浅く幅も狭い。土堀のために深さは不明だが、高崎市によれば、今は50cmから1m程度の水深ではないかという。

● 市民が憩う桜の名所

現在、お堀の土塁には270本ほどのソメイヨシノが植えられ、市民が憩う桜の名所となっている。高崎時代はまだ桜はなく雑木が植えられていた。ちなみに高崎公園のハクモクレン

は、高崎城主・安藤重信が元和5年（1619）に植えたときからである。

城址公園として本格的に整備されたのは1990年代以降で、お堀のフェンスは、ブルーノ・タウトに親交した故・水原徳言さんがデザインしたものだ。かつてはお堀でスケートができたとか、鯉を釣ったという話もたくさん残っている。戦中の食糧難では、お堀のカエルまで食用にされたという。

● 歴史を楽しめる公園に

群馬音楽センターの東側に、高崎城の乾櫓と東門が復元されており、お堀とともに高崎城址のシンボルになっている。乾櫓は、もとは本丸の北側にあり、維新後、民間に払い下げられたが、昭和52年に現在地に復元された。

乾櫓は群馬県内で唯一残る城郭建築で、とても貴重だ。東門は、市役所前の信号の少し東側、お堀の「出柵形」のところにあって、商人も通る通用門となっていたものだ。

高崎城は、詳細な絵図面が残っていて、その気になれば、当時そのままに復元できるそうだ。